

水素がふえるので、その必要はないんです。湯をわかしたいなら、水は少なめに入れて、フタをずらしておくことですね。

旅館・ホテルなどの防火対策は

署長 旅館や飲食店、病院など、多数の人を収容する施設では、火災が起きると大きな災害となるので、定期的に防火査察を行なって指導しています。一こんど、消防用設備「良」マークの表示制度ができました、



四月から査察を行ない、防火設備の整っている旅館や飲食店などには、このマークが張られます。(右図)

編集部 マークのない店はあぶないということですね。署長 不備な箇所がある場合は、期限付きで改善を指示し、悪質のものは、その名前を一般



「ここに119番がかかります」署長の説明に、真剣に耳をかたむける。

に公表するなど、厳しい指導を行なう方針です。編集部 人命にかかわることですから、ぜひお願いします。

消防署員の苦勞することは

署長 火災出動のうえでは、交通渋滞ですね、それに現場のヤジ馬にも苦勞させられます。私生活では、休みの日でも、いつ出勤命令が下るかわかりませんから、出先は常にわかるようにはしておかなければなりません。よその町にいても、サインを聞くとハッとしますね。それに、出勤となると肉体的にもたいへんな仕事ですから、健康管理にも十分心がけておかなければなりません。

これからの消防行政は

署長 消防署というと、火事を消すのが仕事というのがピンとくるわけですが、火事を消すのもさることながら、まず、火事を出さない消防行政が、これから大切だと思っております。市民の皆さんも、自分の家から火は出さない、火元にはならないという心がけで、防火について十分注意していただきたいのです。

みんなで防火を

日光東中二年 川久保恒男

消防の知識などあまり知らなかった頃は、消防署内の見学や署長さんのお話を聞いて、消防の役わりの重要さと、市民として、考えなければならぬところがあつた。

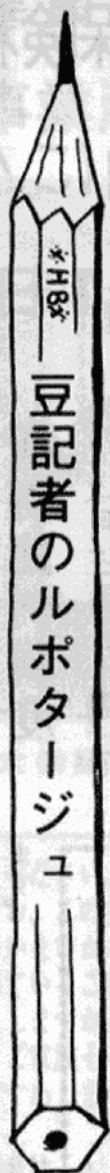
完全燃焼だそう。その他、タバコの火の不始末などもあるよ。うだが、だいたい、家庭でのストーブ、ガス器具などの取り扱いのミスが原因となつていようだ。

日光市の火災発生件数は、だんだん減りつつあるそうだが、それでも去年は一九件起つたそうである。そして、その原因というのが、石油風呂がまの

署長さんは、これからの消防は、火をけすより、火を出さないようにすることだと、言っておられました。私たちが市民は、そのように、火を出さないよう

に、家庭での火の取り扱いには十分の注意を払うことが大切だと思ひます。

消防署の人たちは、私たちが守るために、今も警備をおこたらず、注意をくばっています。やはり私たち市民は、消防署の人たちの苦勞を考え、火事を起さないよう、家庭での火の取り扱いに注意し、そして、市民みんなの協力で、消防署の人たちとともに、火災を減らす努力をし、火事のおこらないようにすることが、明るい生活を築く第一条件であると思ひます。



消防署を訪問して

日光中二年 伊藤敦子

二月十四日、私は日光市消防本部を訪れ、署長さんにインタビューする機会を得ました。署長さんのお話のうちにも、その使命の大きさを十分に感じることができました。以下、そのうちから主な事を報告することにします。

消防署に勤務する人達は、二十四時間制の隔日勤務になつています。しかし、火災発生の場合、休みでも出勤しなければならぬそうです。また、日曜日などの交通量の多い時や、狭い道路、そして火事につきものやじ馬などは、それだけでなく、たいへんな消防活動に、いっ

日光での火災のおもな原因は、石油コンロ、風呂がまの不完全燃焼だそう。このようなことから見ますと、やはり、日常の火の取り扱い不十分、不始末からなる原因が、ほとんどとい

そう困難さを加えるのです。このように、大変な消防活動ができるだけやりやすい方法でできるよう、注意するのが、私達市民の役目ではないかと思ひます。そのためには、まず、「火を消すより火を出すな」ということをよく頭に入れ、常に心がけたいものです。

その他、日光には国宝、重要文化財が多いため、防火、消火体制には特に力を入れ、いろいろな設備も整っています。私達市民は、よりよい消防活動をしていただくために、それなりの協力をしなければいけないことを感じながら、消防署をあとにしました。